

目標達成計画

作成日: 令和 2 年 12 月 1 日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	1	日々の業務に追われ良質なサービスの提供には繋がっていない。	①「認知症ケアの基本」を再確認する。 コロナ収束すれば、 ②外部研修にも参加する。 (リモートでの研修は苦手、パソコン環境良好ではない。)	まずは1回/Mの館内勉強会には時間調整し参加する。資料は保存版とし、個人ファイルに閉じ、読み返しの習慣をつける。	6ヶ月
2	2	介護度の高い利用者や満床にすれば、スタッフ不足による、職員の介護負担感大きく心身の苦労も大きく離職につながる。	①人員補充活動。 ②職員間のコミュニケーションの場面を設け、リフレッシュを目指す。	食事作りの為の職員をケア現場に出すために調理済み食材の活用(している) 厳しいシフトの中にも、3日連休のリフレッシュ休暇を設ける。(できる範囲で行っている。)	6ヶ月
3	3	ヒヤリハットが増えている。	①予防できる転倒とそうでないものの区別を理解し、敏速な対応に心がける。 ②知識や技術の向上の為、館内i演習行う。	介護予防リスクマネジメントと介護事故防止に努める。(勉強会資料参)(済み) 椅子からトイレ誘導排泄のパターンでの演習計画。(職員会議に行う。)	3ヶ月
4	4	コロナ感染予防対策の為、家族の面会に制限ある。	①毎月の状況報告の他に年4回程度の「みずほ」便り(写真入り)の発行行う。 ②玄関に意見箱を設ける。	コロナ禍で近距離、遠距離のご家族様にも写真等で近況報告が出来る様にする。 意見箱あってもなかなかもらえないので「はい」「いいえ」「どちらでもない」等アンケート方式に変更し試みる。	6ヶ月
5		年間目標	1番館— 手洗い・うがい・マスクの励行 2番館— 思いやりと愛情		ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。